

平成25年6月4日

香川大学法学会講演会のお知らせ

香川大学法学部および連合法務研究科が主宰する香川大学法学会は、法や政治を幅広い視野で考えるために、毎年学外からゲスト・スピーカーを招いて講演会を開催してきました。

今回は、元最高裁判所裁判官で現在弁護士としても活躍されている園部逸夫先生をお招きし、「憲法第一章について（皇室制度の課題）」というテーマでお話をいただきます。本学の学生・院生・教職員の他、学外からの参加も歓迎いたします。

【概要】

演 題：憲法第一章について（皇室制度の課題）

講 師：園部 逸夫 氏（元最高裁判所判事）

日 時：平成25（2013）年6月7日（金）

13：00～14：30

場 所：香川大学法学部第3講義室（法学部棟2階）

参加費：無料

主催：香川大学法学会

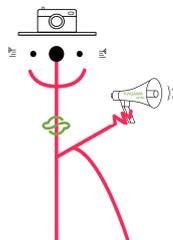
※ご来学の際は、公共交通機関をご利用下さい。

<講演者紹介>

園部 逸夫（そのべ・いつお）氏

1929年生まれ。1954年に京都大学法学部を卒業し、同年京都大学法学部助手、1956年京都大学法学部助教授を務める。1970年東京地方裁判所判事に就任以降、東京高等裁判所判事、前橋地方裁判所判事を歴任。1978年からは最高裁判所裁判所調査官、1981年に最高裁判所上席調査官（行政）を経て、1983年からは東京地方裁判所部総括判事を務める。1985年、筑波大学社会科学系教授に就任。翌年には同大学第一学群長を務める。1987年成蹊大学法学部教授に就任。1989年から最高裁判所判事に就任し、1999年定年退官。2001年外務省参与、2012年内閣官房参与を務める。現職、弁護士、立命館大学客員教授。法学博士。

主な著書に、『行政手続の法理』（有斐閣、1969年）、『オンブズマン法』（共著・弘文堂、1989年）、『最高裁判所十年 私の見たこと考えたこと』（有斐閣、2001年）、『皇室制度を考える』（中央公論新社、2007年）などがある。



問い合わせ先：

香川大学法学部資料室 尾崎 壽子 （TEL：087-832-1744）